

## 一九九二年度 第二回運営委員会記録

現行の運営委員

日 時 一九九一年十一月二十九日  
場 所 同志社大学  
出席者 相川良彦、北原淳、庄司俊作（松本通晴代理）、河村能夫、嘉田由紀子、鳥越皓之、脇田健一、寺口瑞生

### 報告事項

一、年報編集委員会から、村研年報の販売不振のため、年報購入状況、購入可能性についての会員を対象にしたアンケートをする予定であるとの報告があった。それを受け、年報のあり方にについて、抜本的な検討の時期にあるのではないか、という意見が運営委員のなかにみられた。

### 審議事項

一、第一回研究会を東京で開く（中央大学）。

二、宿題委員会（委員長北原）から「本年度の国際比較は日韓比較」にしたいとの宿題委員会の決定の報告があり、了承した。日韓比較の意図は日本を一度、相対化して見直すということになり、村研の伝統である日本研究を大切に考える姿勢は変わらないという点を確認した。

### （記録の追加）

一九九〇年十月十日の高知における総会で現行の運営委員が決定致していたが、「研究通信」に掲載していなかったのでここに改めて報告しておく。

大沼盛男、酒井恵真、布施鉄治、杉岡直人、安孫子麟、岩本由輝、細谷昂、大川健嗣、松岡昌則、武田共治、相川良彦、磯部俊彦、柿崎京一、柄澤行雄、黒崎八洲次郎、佐藤康行、東敏雄、高橋明善、高山隆三、長谷川昭彦、安原茂、松田苑子、吉沢四郎、若林敬子、工藤清光、中田実、交野正芳、渡辺正、嘉田由紀子、河村能夫、北原淳、鳥越皓之、松本通晴、徳野貞雄、大野晃、渡辺安男、古賀論嗣、米沢和彦 以上 三十八名